

㊫ 紙ひこーき作り

1 子どもたちに伝えたいこと

- ・身近なもので、自分で遊び道具を作り楽しむ経験をする。
- ・飛行機の仕組みを知る。
- ・鳥の飛ぶ様子と比較して、生きものの優れた能力を知り、出来れば改善点などを考えてみる。

2 実施時期：いつでも可能

3 実施場所：室内、飛ばす場所・校庭や広場、河原

4 対象学年：全学年

5 関連教科：図工、理科、生活科、総合

6 時数：1～2時限

7 事前準備

- (1) 学校：ケント紙A4版に型紙を印刷しておく（児童各1枚）、あればグルーガン（クラスに3-4台）
- (2) どんぐりクラブ：紙ひこーきの図面の型紙

8 当日

(1) 準備する材料や道具

学校：グルーガン

児童：木製の割りばし、はさみ、色マジック・ポスカ

どんぐりクラブ：グルーガン、紙ひこーきのサンプル、フック用のクリップ（2分の1を使う）、キリ（割りばしに穴をあける）、補充用割りばし

(2) 授業の流れ

① あいさつ

② 紙ひこーきのサンプルを提示

③ 作り方の説明

- ・作り方を図と材料で説明

④ 作業

- ・木製割箸の片方を使う。
- ・図面に当て、おもり、フック、主翼、尾翼の位置を割り箸上にマークする。
- ・ケント紙に印刷された主翼、尾翼、補強翼、錘をはさみで切り取る。
- ・割り箸と切り取った主翼などをグルーガンで付ける。
- ・飛ばしてみ、主翼や尾翼の角度などを調整する。
- ・翼と軸に色を塗ったり、文字を書いても良い。

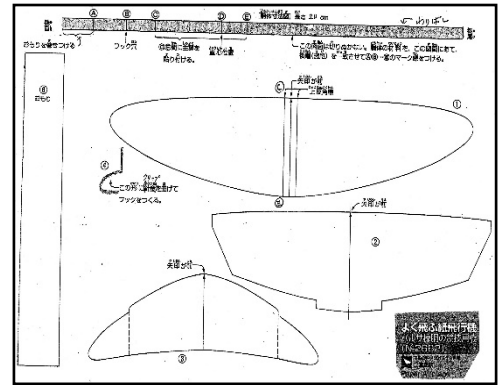
⑤ 飛ばし競争

- ・体育館の舞台や校庭で一列に並び、一斉に飛ばす。
- ・フックに輪ゴムを引っ掛けて飛ばすことが出来る。

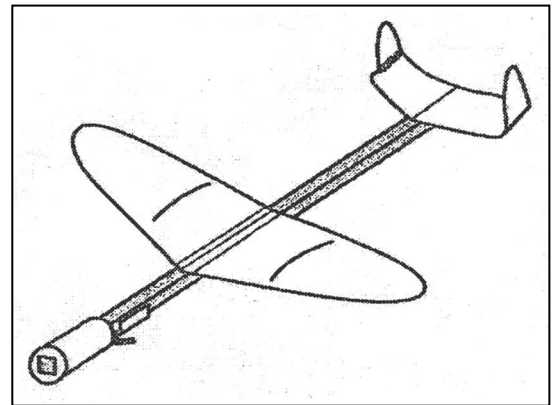
⑥ 終わりのあいさつ

9 備考

- ・飛行機はどのように工夫したらよく飛ぶか考えてみる。



<型紙、おもりの紙、割りばし>



<完成図>